# ~まちづくり計画にエネルギー地産地消の視点を~

令和5年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージ I 】 採択課題

課題名:エネルギー地消地産に向けた地区まちづくり計画の作成

研究代表者:総合政策学部 役重眞喜子

課題提案者:達曽部地域づくり連絡協議会、遠野市

研究メンバー:阿部寿(達曽部地域づくり連絡協議会) 永田裕(遠野市)

技術キーワード:地域資源、再生可能エネルギー、地域コミュニティ

# ▼研究の概要

東北一の水ワサビ産地である遠野市宮守町達 曽部地区では、人口減少と高齢化の進展やコロ ナ禍における活動縮小を背景にまちづくり計画 の見直しの必要が生じていた。そこで、水資源 をはじめとする地域資源の再発見、内外の若者 世代の新たな視点の導入による見直し計画の策 定を目標に、住民合意形成過程の実証を行った。

# ▼研究の方法

先行研究から、まちづくりワークショップ (以下「WS」)は①参加層の特定化②熟議の 不足③行政による誘導などの弱点を持つとされ る。よって本研究では再エネ活用という行政課 題を将来ビジョンとしつつも、住民の「自分ご と」=主体性を優先してWS運用を構成した。

- 1. 住民+学生WSの開催(2回)
- 2. 住民意識調査の実施(計画内容の認知・評価)
- 3. 保護者アンケートの実施(子に伝えたい資源)

# 【結果1】住民+学生WS

実施時期:2023年10月、11月

実施内容:まち歩きと思い出マップ作り

結果:住民の愛着ある地域資源を「思い出マッ プ」に落とし込み、投票方式で現まちづくり 計画の評価と比較した結果、より力を入れた い分野として自然歴史の活用が抽出された。





⑤寺沢高原 ・展望台は標高が高いため見晴らしが良い ・植樹祭が行われていた

# 達冒部思い出マッ

### ①達曾部川

# 地域の活動でニジマスの手づかみ体験 ウサギ、ニワトリを売って売ってお金に 綺麗で冷たくて美味しい湧き水 灯籠が綺麗



③よねたや





6飛龍山 ていた。 ・神の水と呼ばれてい

7大麻部山 見晴らしが良くて遠野の方まで見ることができる。

# 4稲荷穴

表 住民ワークショックによるよりフへり計画の評価		
項目	プラス評価	マイナス評価
1. 観光交流	00000	••••
2. 自然歴史の活用	000	••••••
3. 商売づくり	00	•••••
4. 地域内交流	00000000000	••••••
5. 生活支援	0000	•••

# 【結果2】全世帯意識調査結果

実施時期:2024年2月

実施状況:配布数346 回収数198 回収率57.2% 結果:稲荷穴まつりなど地域を代表する行事以外のイベント に関しては十分には認識されていない状況が見られた。

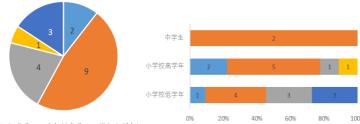
## 【結果3】保護者へのアンケート調査結果

実施時期:2024年3月

実施状況:小中学校の全保護者へ調査票配付

配布数27世帯 回収数19世帯 回収率70.4%

結果:親世代も達曽部川の川遊び、稲荷穴でのキャンプな ど独自の地域資源を活用した子どもの体験機会の充実を期 待。一方、多忙感から地域参加の限界にも言及あり。 再生可能エネルギーについては6割程度が関心を持ち、中 でも小学校高学年以上の子どもの親の関心がやや高かった。



- ■まったくない■わからない

図:再生可能エネルギの取組みへの関心(保護者全体/子の年代別)

# ▼研究の成果

以上の結果をふまえ、以下3点を明らかにした。

- ①少子高齢化地域での住民WS→学生など<u>地域を将来視点か</u> ら見ることのできる参加者による対話の豊富化の可能性
- ②まちづくり計画への多世代の視点反映→組織や行事の合 理化を含め、若年層が求める大胆な見直しも必要。
- ③再生可能エネルギー活用可能性→親世代に一定の関心の 高まりがあり、今後野外での水力発電体験WSなど、地域資 **源の活用からアプローチ**の継続が有効。

# ▼おわりに

まちづくりWS、アンケート調査等にご協力いただいた達 曽部地区の皆様に心より感謝申し上げます。